【専門分野】

科目名	医療安全	講師名	専任教員	学年	3	履修期	第１学期
単　位	１単位						
時間数	１５時間						
講師実務経験	看護師としての臨床経験あり						
授業概要	医療システムや看護業務の中の危険要因を知り、診療補助技術（与薬）における事故防止について学ぶ。						
授業科目目標	１．医療安全を学ぶことの大切さが理解できる。 ２．看護事故の構造と分析方法が理解できる。 ３．看護業務の中の危険因子及び事故防止について理解できる。						
授業計画	１回：我が国の医療安全対策の歴史を踏まえた医療安全 １）医療安全を学ぶことの大切さ ２)組織的な医療安全体制への取り組みとわが国の医療安全対策 ３）医療安全の新しい考え方 ４）医療事故と看護業務 ２～３回：看護事故の構造とその分析 １）看護事故の構造 ２）組織としての取り組み ３）リスクマネジメントのプロセス ４）リスクの分析（ＲＣＡ） ４回：与薬業務の事故防止 １）内服に関わる事故防止 ２）点滴に関わる事故防止 ３）シリンジポンプに関する事故防止 ５回：輸血業務、チューブ管理の事故防止 １）輸血業務に関わる事故の実際 ＡＢＯ血液型不適合輸血の事故防止 ＡＢＯ血液型不適合輸血以外の事故防止 ２）チューブ管理の事故の実際 チューブ管理における事故防止 業務領域を超えて間違いと発生要因、医療安全とコミュニケーション １）業務領域を超えて共通する間違い 間違いを誘発するタイムプレッシャー 新人特有の危険な思い込み ２）医療安全に重要なコミュニケーション ６・７回：臨床で起こりうる患者の安全が阻害された状況下での安全な看護 ８回：終了試験						講義 講義・演習 講義 講義 演習
評価方法	筆記試験						
テキスト	１．系統看護学講座　統合　看護の統合と実践［２］医療安全，医学書院. ２．系統看護学講座　専門分野　基礎看護学[３]基礎看護技術Ⅱ，医学書院.						
参考書	１．竹尾惠子監修：看護技術プラクティス，第３版，学研. ２．川村治子：医療安全ワークブック　第３版，医学書院. ３．川島みどり：学生のためのヒヤリハットに学ぶ看護技術，医学書院. ４．河野龍太郎：医療におけるヒューマンエラー，医学書院.						
学生へのメッセージ	自分自身のリスク感性の程度を知り、医療安全に対する認識を高めていきます。統合実習へつなげていけるよう、既習学習を想起し臨んでください。 【関連科目】薬理学、関係法規Ⅱ、看護学概論、共通基本技術Ⅱ、診療関連援助技術Ⅰ、看護管理						